



三つの「心」

校長

春の訪れが待ち遠しい北海道。雪解けは、もう少し先ようです。そんな中、3月21日に第98回卒業証書授与式を終え、47名の子ども達が学び舎を巣立っていきました。

長年子どもたちに関わっていると、その学年のカラー(color)が見えてきます。今年の6年生のカラーは明るい黄色やオレンジ色に見えていました。いつも笑顔がいっぱい、学習はもちろん、行事や学校生活の様々な事に、楽しんで取り組むことがとても上手でした。卒業のテーマは『COSMOS～みんなスター！～』。彼らにとってもぴったりのテーマです。

そんな47名の卒業生のみなさんに、これからも、自分らしく輝いてほしいと願い、卒業式では三つの「心」をはなむけの言葉として贈りました。

一つ目の心は「志」。できない理由を考えるのではなくできる方法を考え、まずはやってみることで自分の可能性を広げてほしいと伝えました。

二つ目の心は「愛」。自分を大切に、周りの人を思いやれる人となってほしいと伝えました。

そして三つ目の心は「忍」。我慢強い努力ができるたくましさを身に付けてほしいと伝えました。

努力してもなかなか思うようにならないときは、少なからずあるものです。しかし、諦めては、そこで全てが終わってしまいます。諦めないことが、夢への第一歩。

未来ある子どもたちみんなに、「夢」や「決意」の実現に向けて、たゆまぬ努力を続けてほしい、そんな願いを込めて、最後に右の一節を伝えました。

くじけそうになった時に、心の道標になればと思います。

今日は、修了式。学年の締めくくりの日です。それぞれの学級では、この一年を振り返り、仲間と共に成長を確かめ喜びあったことでしょう。

そして、明日からは春休み。次の学年への準備期間となります。生活のリズムを大切に、事故や怪我なく過ごし、元気に4月8日の始業式を迎えられるよう願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、東橋小学校に携わっていただいた皆様、この一年、本校の教育活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。どうぞ、来年度もよろしくお願いいたします。